

2026年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年7月10日

上場会社名 株式会社 ミスターマックス・ホールディングス

上場取引所 東 福

コード番号 8203 URL <https://www.mrmaxhd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 能章

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画・財務部門管掌 (氏名) 石井 宏和

TEL 092-623-1111

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	34,713	7.8	1,238	46.6	1,286	50.4	850	57.0
2025年2月期第1四半期	32,199	4.0	844	16.6	855	22.6	541	17.1

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 845百万円 (45.8%) 2025年2月期第1四半期 579百万円 (31.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	25.54	
2025年2月期第1四半期	16.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	88,913	36,138	40.6
2025年2月期	83,199	36,058	43.3

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 36,138百万円 2025年2月期 36,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期		0.00		23.00	23.00
2026年2月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	72,000	4.1	2,400	7.0	2,400	6.9	1,600	10.0	48.06
通期	143,000	4.7	4,100	7.2	4,100	8.4	2,700	9.0	81.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期1Q	39,611,134 株	2025年2月期	39,611,134 株
期末自己株式数	2026年2月期1Q	6,322,852 株	2025年2月期	6,322,620 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年2月期1Q	33,288,392 株	2025年2月期1Q	33,248,996 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料の2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における営業収益(売上高+不動産賃貸収入+その他の営業収入)は347億13百万円(前年同期比107.8%)、営業利益は12億38百万円(前年同期比146.6%)、経常利益は12億86百万円(前年同期比150.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億50百万円(前年同期比157.0%)と増収増益となりました。

当社グループは「普段の暮らしをより豊かに、より便利に、より楽しく」という経営理念のもと、総合ディスカウントストアとして、生活必需品を中心とした商品を毎日低価格で販売するエブリデイ・ロープライス(EDLP)を徹底し、EDLPを支えるエブリデイ・ローコスト(EDLC)に注力してまいりました。さらに、ミスターマックスに関わるすべてのステークホルダーに、「より良い明日」を届けるべく、「暮らしのエンパワメント(あと押し)・カンパニー」として、豊かで便利で楽しい未来の実現を目指しています。

当第1四半期連結累計期間における売上高は333億50百万円(前年同期比108.0%)と過去最高を記録しました。商品別では、市場の品不足を背景に需要が高まった米が、積極的な集荷活動により大幅に売上を伸ばしました。また加工米飯や、米の代替需要からパスタ、パンなどの売上も好調に推移しました。

さらに、物価高騰に対応した値下げ企画の実施により、衣類用洗剤、キッチン用品、ペットフードの売上が伸長しました。加えて、酒類の値上げ前の駆け込み需要を的確に捉え、ビール類の売上も増加しました。

プライベートブランド(PB)商品については、家電メーカーの製品を当社専用機種として販売したエアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機などの大型家電製品が売上を大きく伸ばしました。さらに、食品やキッチン用品などの新商品開発に取り組んだことで、PB商品の売上高は前年同期比111.8%となり、売上高構成比は前年同期に比べ0.8%増加し21.6%となりました。これらの結果、既存店売上高前年同期比は107.1%となりました。

荒利益高は74億53百万円(前年同期比110.1%)と、売上高の伸長が荒利益高の増加に繋がりました。また、仕入ルートの見直しを行った結果、荒利益率は前年同期に比べ0.4%増加し、22.3%となりました。

コスト面では、賃金の上昇により人件費は増加しましたが、セルフレジの導入など業務効率化に努めた結果、作業時間の増加を抑え、人件費の増加を最小限にとどめることができました。また、キャッシュレス決済の利用は引き続き増加傾向にあるものの、決済手数料について料率交渉を行った結果、コスト増加の影響を軽減することができました。これらの取り組みにより、販売費及び一般管理費は75億77百万円(前年同期比104.5%)となりました。

これからも「暮らしを豊かにする企業」として挑戦を続け、ディスカウントストアの枠を超えた新たな価値を創造し、皆様の生活をより豊かで便利にする「暮らしのエンパワメント(あと押し)・カンパニー」を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ52億35百万円増加し、245億61百万円となりました。これは主として、商品の増加36億35百万円などによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億78百万円増加し、643億52百万円となりました。これは主として、土地の増加2億1百万円などによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ57億13百万円増加し、889億13百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ47億54百万円増加し、326億19百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加24億92百万円などによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ8億79百万円増加し、201億55百万円となりました。これは主として、長期借入金の増加11億97百万円などによるものです。

この結果、負債は前連結会計年度末に比べ56億33百万円増加し、527億75百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、361億38百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加84百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年4月10日公表の予測数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,754	2,189
売掛金	3,474	4,282
商品	12,787	16,422
貯蔵品	46	45
その他	1,263	1,621
流動資産合計	19,325	24,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,562	13,278
土地	30,115	30,317
その他(純額)	4,439	4,983
有形固定資産合計	48,118	48,579
無形固定資産	1,506	1,409
投資その他の資産		
差入保証金	6,490	6,383
その他	7,790	8,011
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	14,248	14,363
固定資産合計	63,873	64,352
資産合計	83,199	88,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,473	10,965
電子記録債務	7,589	7,767
短期借入金	—	2,150
1年内返済予定の長期借入金	5,462	5,664
1年内償還予定の社債	586	586
未払法人税等	948	537
賞与引当金	788	1,025
その他	4,017	3,922
流動負債合計	27,865	32,619
固定負債		
社債	1,906	1,613
長期借入金	9,598	10,796
退職給付に係る負債	886	896
資産除去債務	1,598	1,603
その他	5,285	5,245
固定負債合計	19,275	20,155
負債合計	47,141	52,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	8,003	8,003
利益剰余金	20,038	20,122
自己株式	△2,563	△2,564
株主資本合計	35,707	35,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	228	226
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	4	4
退職給付に係る調整累計額	118	114
その他の包括利益累計額合計	350	346
純資産合計	36,058	36,138
負債純資産合計	83,199	88,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	30,871	33,350
売上原価	24,101	25,897
売上総利益	6,770	7,453
営業収入		
不動産賃貸収入	989	1,013
その他の営業収入	338	349
営業収入合計	1,328	1,362
営業総利益	8,098	8,815
販売費及び一般管理費		
販売費	1,552	1,631
一般管理費	5,701	5,945
販売費及び一般管理費合計	7,254	7,577
営業利益	844	1,238
営業外収益		
受取利息	5	4
補助金収入	39	51
その他	28	36
営業外収益合計	73	93
営業外費用		
社債利息	1	1
支払利息	31	32
その他	29	9
営業外費用合計	62	44
経常利益	855	1,286
特別損失		
固定資産除却損	8	42
特別損失合計	8	42
税金等調整前四半期純利益	847	1,244
法人税、住民税及び事業税	424	535
法人税等調整額	△119	△141
法人税等合計	305	394
四半期純利益	541	850
親会社株主に帰属する四半期純利益	541	850

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	541	850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	△1
繰延ヘッジ損益	△3	0
為替換算調整勘定	0	△0
退職給付に係る調整額	△0	△3
その他の包括利益合計	38	△4
四半期包括利益	579	845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	579	845
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	666百万円	720百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

当社グループは、小売及びこれに付随する事業を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

当社グループは、小売及びこれに付随する事業を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。